

講座名（専門科目名）	生体防御医学講座 生体応答学	教授氏名	伊勢 渉
学生への指導方針	分子生物学、免疫学の基礎的な研究手法や論文の読み書き、プレゼンテーションの指導などを丁寧に行い、自立した研究者として活躍するための基礎を身につけてもらいます。		
学生に対する要望	責任感と主体性を持って研究に臨む姿勢を重視します。免疫学の予備知識は問いませんが、好奇心あふれる方を歓迎します。		
問合せ先	(Tel) 06-6879-8878 (Email) wise@ifrec.osaka-u.ac.jp	担当者	伊勢 渉
その他出願にあたっての注意事項等	出願前に一度ご連絡ください。研究室見学を歓迎します。		

(以下教室紹介)

ウイルス感染が起きると、免疫系は生体防御に必要な応答を起こしてウイルスを駆逐すると同時に、傷ついた組織の損傷にも働きます。また感染による炎症反応が収まったところには、将来の再感染に対応するための免疫記憶も獲得されます。本研究室ではウイルス感染によって誘導される抗体反応、免疫記憶、組織損傷と修復に興味を持ち、以下のテーマを中心に研究を進めています。

- 1) 抗体産生細胞（プラズマ細胞）の長期生存機構の解明
- 2) 抗体産生をヘルプする T 細胞の誘導と生存機構の解明
- 3) 肺組織修復に関与する免疫応答の解明

遺伝子改変マウスを用いた解析に加え、ヒトの免疫応答を解析可能な実験系の構築にも取り組み始めています。これらの研究を通じて、将来のパンデミックに備えたワクチン開発やウイルス感染治療薬の開発に貢献することを目標としています。

【主な研究業績】

- 1) Ise et al. *J Exp Med.* 2025; in press
- 2) Koike et al. *J Exp Med.* 2023; 220(2): e20221717
- 3) Fujii et al. *Int Immunol.* 2020; 32(10) 683-690
- 4) Tanaka et al. *Nat. Immunol.* 2020; 21(8) 950-961
- 5) Ise et al. *Immunity.* 2018; 48(4) 702-715
- 6) Ise et al. *Proc Natl Acad Sci USA.* 2014; 111(32) 11792-11797
- 7) Ise et al. *Nat. Immunol.* 2011;12(6) 536-543
- 8) Ise et al. *Nat. Immunol.* 2010;11(2) 129-135

【研究室ホームページ】

<https://sites.google.com/cider.osaka-u.ac.jp/iselab/home>